

## 本会記事

## 2024 年度春季大会報告

2024 年度春季大会は、5 月 21 日（火）～23 日（木）の 3 日間、東京工業大学すずかけ台キャンパス大学会館において行われました。今回の講演発表件数は、受賞記念講演 7 件、特別講演 5 件、招待講演 16 件、一般講演 125 件の合計 153 件、3 日間で約 420 名と多くの方にご参加頂きました。

すずかけ台キャンパスは、東急田園都市線すずかけ台駅から徒歩 5 分程の距離にあり、すずかけ門から大学会館までの道には木々が茂り、手入れされた綺麗な花々も植えられていました。また、受付、展示会場として利用していたラウンジは、大きなガラス窓から気持ちの良い日差しが差し込み、どこか穏やかな空気が流れる中、セッション会場以外でも議論を行う姿が見受けられました。

大会初日には、春季大会恒例の日本粉末冶金工業会の工業会賞受賞記念特別セッション、2024 年度定時社員総会と 2023 年度協会賞受賞式が行われました。今年度は当会役員改選の年に当たり、園田前会長から尾崎会長への引継ぎがされました。尾崎会長のご挨拶については、会誌 6 月号ならびに HP に掲載していますので、是非ご覧ください。総会終了後の協会賞受賞式では功労賞をはじめ、7 賞 44 名の表彰が行われ、園田前会長より賞牌が授与されました。

受賞式後は、場所を移動して Kitchen MOTOTECH にて懇親会を行いました。懇親会は北本仁孝実行委員長の開会の辞に始まり、園田修三前会長、協会賞受賞者を代表して功労賞を受賞された吉村一良様、東京工業大学科学技術創成研究院 フロンティア材料研究所原亨和所長にご挨拶を頂きました。乾杯のご発声は元理事日義雄様から頂き、歓談がスタートしました。155 名の非常に多くの方にご参加を頂いたためか、乾杯前から会場の空気が温まっており、いつも以上に歓談が盛り上がっていたように見受けられました。また、歓談途中には、懇親会恒例の参加学生さんの自己紹介を行い、研究内容や指導教官に関するお話を伺いました。



また、大会 2 日目には若手フォーラム企画委員会が開催されました。現在分科会の再編を行っており、その一環として、若手会員に今後の協会活動への意見を求める場として同委員会が設けられました。今後の講演大会で活動できるよう準備を進めています。

今回の講演大会では、8 つの講演特集と一般講演の発表がありました。講演特集「各種粉末の焼結技術および焼結機構の新たな展開」は 2 日間に亘り開催されましたが、1 日目はシミュレーションの招待講演と協会賞受賞記念講演があり、大会中最も多い 100 名の聴講がありました。また、講演特集「イオン伝導性材料の新展開」では、東京工業大学菅野了次先生に「イオン導電体創成から固体電池構築へ」というタイトルで特別講演を頂きました。通常参加者が少ない最終日午後の時間帯での講演でしたが、立ち見も出るほど多くの参加者があり、講演会場は活気に満ちあふれていました。一般講演の「積層造形」も短時間のセッションでしたが参加者も多く、質疑応答も活発に行われていたことから、会員の方の興味関心を集めている分野であると改めて感じました。



2024 年度秋季大会は、11 月 21 日（火）～23 日（木）の 3 日間、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターにて開催予定です。現在、秋季大会 WEB サイトにて、1 つの企画セッション、積層造形含む 4 件の講演特集ならびに一般講演で講演申込中です。今大会に引き続き、多くの方のご発表、ご参加をお待ちしております。

（小川 千賀子）